

「食農教育」体験活動

平成 15 年 8 月 27 日 (水) 実施

講座コード 2 3 1

アラカルトコード 09021

第4回報告

ポイントはこちら！育てる！食べる！「食農教育」体験活動（講座コード231）第4回目が、天候が心配されるなか8月27日（水）に行われました。

シーズンコース（15名、欠席1名）およびオータムコース（3名）の17名の先生が、午前中から勢多農林高等学校の上泉農場で「秋野菜の播種と定植について」の実習を行いました。

午後からは会場を勢多農林高等学校へ移し、アラカルトコースの17名の先生が加わり、合計34名で「小麦粉とそば粉を使った郷土食の作り方」の実習を2会場に別れて実習に汗を流しました。

日 程

<< 午前 >> (上泉農場)

- 秋まき野菜の種まきと苗の定植、
およびその後の管理について
(齋藤裕講師：勢多農林)

<< 午後 >> (勢多農林高等学校)

- 小麦粉とそば粉を使った郷土食の作り方
(そばおよび田舎まんじゅうの製造)
(木村 剛・松本章夫・品川寿美講師：勢多農林)
(水島英明・堀口軍次講師：富岡実業)



受講者の声と講座の様子

- 勢多農林高校の施設を使わせて頂く研修で、夏休み中ですが、生徒さんが一生懸命畑等で実習する姿に出会い、今の高校生の様子がわかり、嬉しく思いました。秋まきの野菜のことや小麦粉ソバ粉を使った実習も、プリントの上だけではわからない微妙なポイントが実際に体験することで身に付いたと思います。二学期以降の授業にも役立てそうだととてもよかったです。
- 講師の先生方には大変お世話になりました。親切に教えていただきありがたかったです。自分が体験した楽しさ、驚きなど子どもたちにも体験させたいと思いますが、指導する自分の経験不足もあり、あまりうまくいっていませんでした。このような研修の機会を今後も設けていただくと嬉しいと思います（勢多農の先生にはご苦労をおかけすることになります）。
○栽培はやはり個人個人で畝を切ったほうが気持ちが入って良いと思えました。食品加工では、そばとまんじゅうということで、人気だったと聞きましたが、納得！やはり面白いです。研修については、午前と午後の内容を分けたほうがよいと思います。栽培は栽培で、食品加工は食品加工で面白みもあり、また、受講者側のねらいも異なると思います。栽培はセンターでなく、農業高校にお世話になれる方が身に付くものも多いと思います。
- 種や苗等は自己責任で持参してもよいと思う。至れり尽くせりで申し訳ない。小中学校教諭にも、農業系の特研や長研を開設していただきたい。
- オータムコースの参加となります。秋野菜について学習がたくて参加しました。学校では夏野菜しか取り組んでいませんでしたが、今回、さまざまなポイントを教えていただき参考になりました。2学期にはぜひ取り組んでいきたいと思いました。知らないことが多くあり、得るものが多いと思います。来年以降もあれば参加したいと思います。もし可能なら、各地区の実業高校が会場なら、農作物の面倒を見やすいのかなと思います。
- 総合教育で、「食」をテーマに三年生の子どもと勉強しているので、この講座を申し込みました。バター作りや郷土食など、すぐに役立ちそうでありがたいです。今、現場でもっとも頭を悩ませているのが、不登校の子や気持ちの弱っている子です。教育相談グループとリンクして、そういう子供たちと一緒に午前中の農作業、午後の料理をするというのも一つの方向ではないでしょうか。冗談抜きで、ここに来て仕事をしていると何か人間らしい気持ちになります。ぜひ、弱った子にも体験させてあげたい。そんな方向性も考えていただけるとありがたいです。来年度は、午後コースでよいので、二年目コースというのをぜひ作って、今年度を発展した勉強をぜひさせて下さい！
- これからの教育に食育、食農は大切な内容である。今回の研修で得たものはとても大きかったですが、何人の先生が実際にこの研修を生かすことができたでしょうか。研修をどのように生かしたかなどアンケートをとってみるのもよいと思います。これからは、各地域の農業高校を基点として小中の食農教育を推進できるような形が重要ではないかと感じられます。研修も勢多農林で5回行われましたが、できれば各地域の農業高校を中心として回数も増やせたらと思います。さらに研修に参加している先生の勤務校なども訪れて、学校での食農問題を一緒に解決できるような研修などはいかがでしょうか。
- 午前午後と講座の内容がぎっしり詰まっていて、短い時間の中でこなすのが少しもったいない気がしました。普段の研修時は1日学校をあけることになりましたが、小規模校なので、特別大変なことはありませんでした。ただ、休日にフレンドリーファームまで通うのは、少し大変でした。できればちょくちょく通えるような距離に畑があると良いと思います。研修内容はいつも楽しく、学校に帰って報告するのですが、たくさんの教職員から資料の請求があります。

